



地域学校協働活動 くりっこ探検隊(仙北市立西明寺小学校)

7月4日、仙北市立西明寺小学校5年生による地域学習「くりっこ探検隊」が実施されました。これは、地域と学校による熟議から出された「地域を知ってほしい」「地域を支える人に育ってほしい」といった意見を基に創り出された地域学校協働活動の一つです。

今回の探検隊は、農業組合法人「サンファーム西木」と農家民宿・レストラン「泰山堂」を訪れました。児童たちは、地域で活躍する方々の言葉から地域のよさに改めて気付いたり、地域で働き、地域で生きていくことへの意欲や希望をもったりすることができたようです。

西明寺小の地域学校協働活動の大きな特徴は、企画から実施に至るまで地域住民が深く関わっていることです。各学年の実行委員会は、地域の方々の思いや願いを反映した探検隊の学習プログラムを編成します。地域学校協働活動推進員は、探検隊の指導に当たる地域の先生に活動のねらいを伝えたり、学習内容や時間配分等の打合せを行ったりと、学校と地域人材との橋渡し役を務めています。当日には、実行委員や地域住民が「大人の社会科見学」のように児童と一緒に各所を巡り、学ぶことを大いに楽しんでいました。



アドバイザーコラム：学校・家庭・地域の連携・協働 27

部活動の地域移行⑦

社会教育アドバイザー 小笠原 重夫

公立中学校の部活動指導を地域クラブなどに委ねる地域移行について、県教育委員会は8月30日、今年度から3年間で実施する「推進計画」を公表しました。

計画の策定に当たっては、スポーツ・芸術関係団体の関係者、有識者等12人の意見を踏まえています。筆者は策定委員の一人になっていますが、正直「やっとここまで…」の思いがあります。

計画では、県や市町村、学校が取り組むべきロードマップをそれぞれ定め、国が改革推進期間の期限とする25年度末までに、県内の各市町村毎に“少なくとも一つ”は部活動指導を地域に移行する目標を掲げ、「移行パターン」も例示しています。

また、目標を達成するために、県は「指導者人材バンクの設置」や「指導者養成研修の充実」、市町村は「生徒や保護者、地域住民等への方針説明」、学校は「学校施設開放の準備」などに取り組むことも盛り込んでいます。

ただし、これらの対応は、全県一律ではなく、地域の実情を踏まえながら、柔軟に対応する必要性も明記されています。

計画策定の当事者の一人としては、この計画が「絵に描いた餅」にならないように願うのみです。

中学校部活動の地域移行については、次回からは連載ではなく、随時掲載します。



中学生・高校生ビブリオバトル 参加者募集中!

10/28(土)横手大会	横手市交流センターY ² ぶらざ	10/13(金)×切
10/29(日)大仙大会	大曲交流センター	10/13(金)×切
11/11(土)湯沢大会	湯沢市役所	10/26(木)×切

*お問い合わせは、秋田県教育庁南教育事務所 ☎0182-32-1101 まで